

平成27年11月27日

国土交通省道路局

国土技術政策総合研究所

ETC2.0

「ETC2.0車両運行管理支援サービス」に関する 社会実験の参加者公募について

国土交通省では、道路を賢く使う取組の1つとして、ITを活用した賢い物流管理を推進しています。

今回、「ETC2.0車両運行管理支援サービス」の社会実験を実施するにあたり、実験参加者を募集します。

※公募要領等の詳細は、以下の国総研HPをご覧ください

http://www.nilim.go.jp/lab/qcg/japanese/1top/topics/2015_youryou.pdf

ETC2.0のビッグデータを活用した本サービスの導入により、深刻なドライバー不足が進行するトラック輸送について、

- ・リアルタイムな位置情報で正確な到着時間の予測が可能となり荷待ち時間を短縮
- ・トラック運転の危険箇所をピンポイントで特定し、ドライバーの安全を確保

等の効果が期待されます。

なお、バスやレンタカー等も併せて実験参加者を公募します。

<お問い合わせ先>

国土交通省 国土技術政策総合研究所

道路交通研究部 高度道路交通システム（ITS）研究室

室長 牧野浩志、主任研究官 松田奈緒子

電話029-864-4496（直） FAX 029-864-0178

ビックデータで
トラック輸送を最適化する

ETC2.0 車両運行管理支援サービス

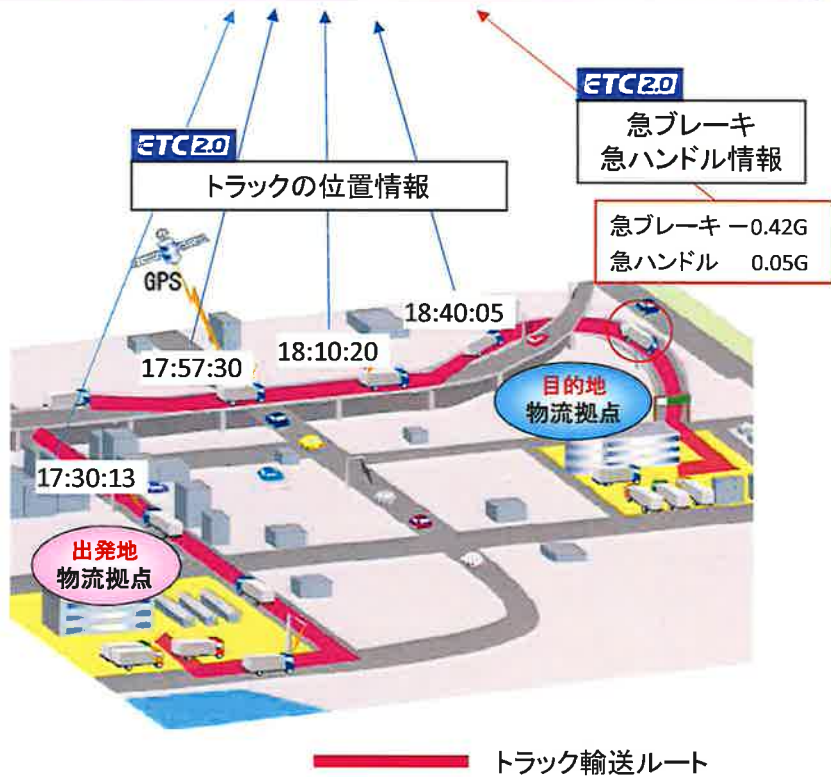
物流事業者



リアルタイムな位置情報で
正確な到着時刻を予測
⇒ 荷待ち時間を短縮



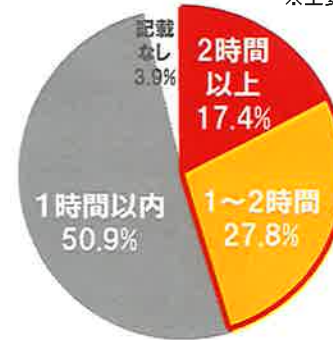
トラック運転の危険箇所を
ピンポイントで特定
⇒ ドライバーの安全確保



今回実施(公募開始→実験)

(DATA) 荷待ち時間の現状

※主要産業の配送センターにおける到着から荷役開始までの時間



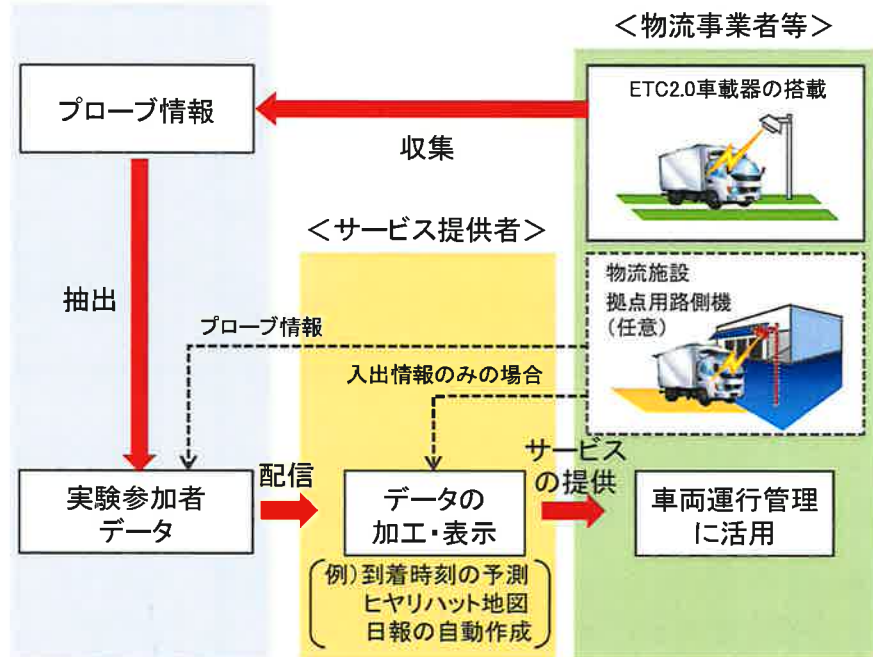
約半数で
1時間以上の
荷待ち時間が発生

荷主庭先実態調査報告(日本路線トラック連盟)より

実験スキーム

国土交通省

実験参加者(公募)



併せて、バスやレンタカーへの適用についても実験予定

ETC2.0 車両運行管理支援サービスの実験内容

概要

- ・車両のプローブ情報を活用し、運行管理の効率化やドライバーの安全確保等を試行実施する事業者又は事業者グループを公募
- ・実験参加者から、様々なサービス利用方法の提案を求め、その実現可能性、有効性を確認

実施期間

- 第Ⅰ期:平成27年11月～平成29年3月(20社程度)
- 第Ⅱ期:平成28年春頃～平成29年3月(第Ⅰ期を踏まえ設定)
(第Ⅰ期の取組を広報し、一層の提案を広く求めて実施)

車載器購入支援

ETC2.0車載器の調達税込み価格(1台当たり3万円上限)

試行の 評価・分析

- ・実験参加者の観点から安全性の向上、経営上の効果等を評価・分析
- ・国としての施策の有効性、実現可能性の評価・分析
- ・社会的効果(渋滞、事故の削減等)の評価・分析

ドライバーの安全確保

急ブレーキをドライバーへの安全運転啓発に活用し、事故削減効果を分析



荷待ち時間削減

車両位置のリアルタイムの提供により、作業員の待機時間削減効果を分析



日報管理の自動化効果

日報作成の自動化を図り、運行管理者の業務軽減効果を分析

